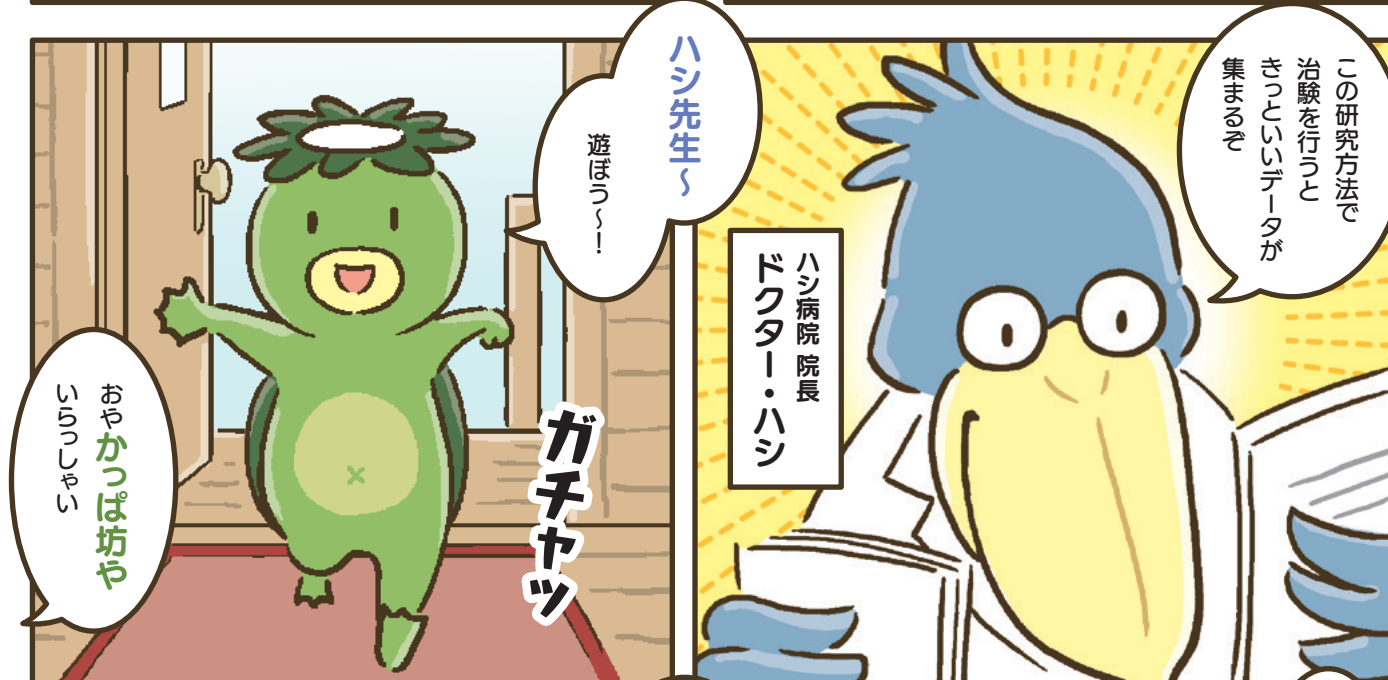
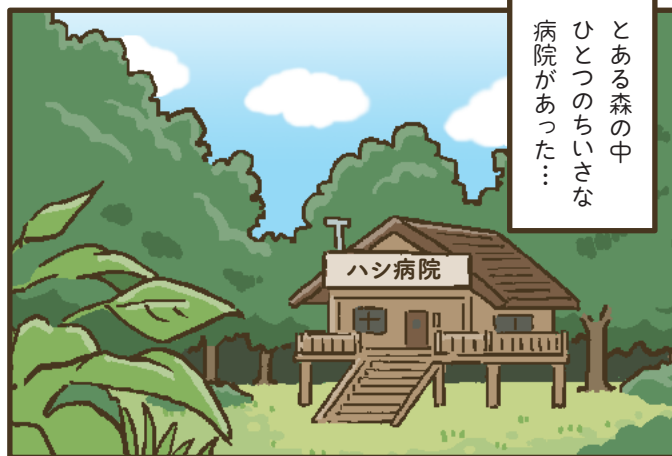
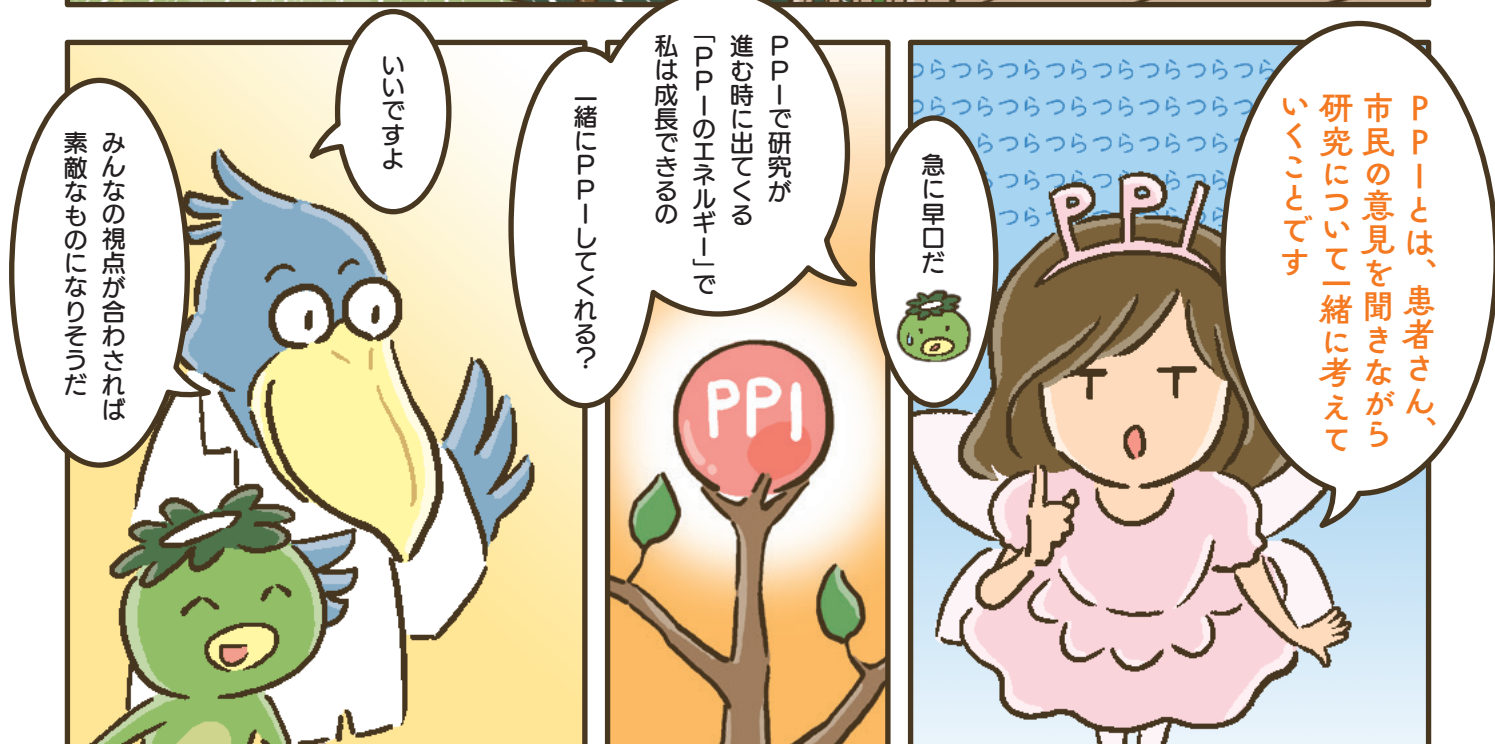
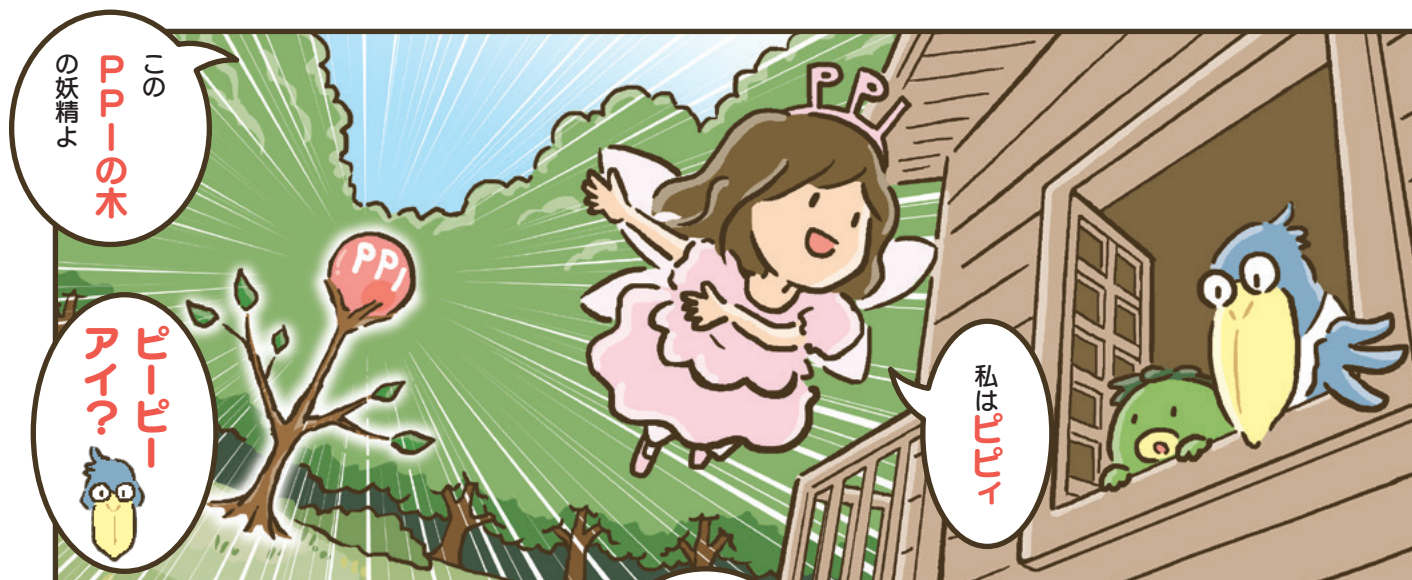
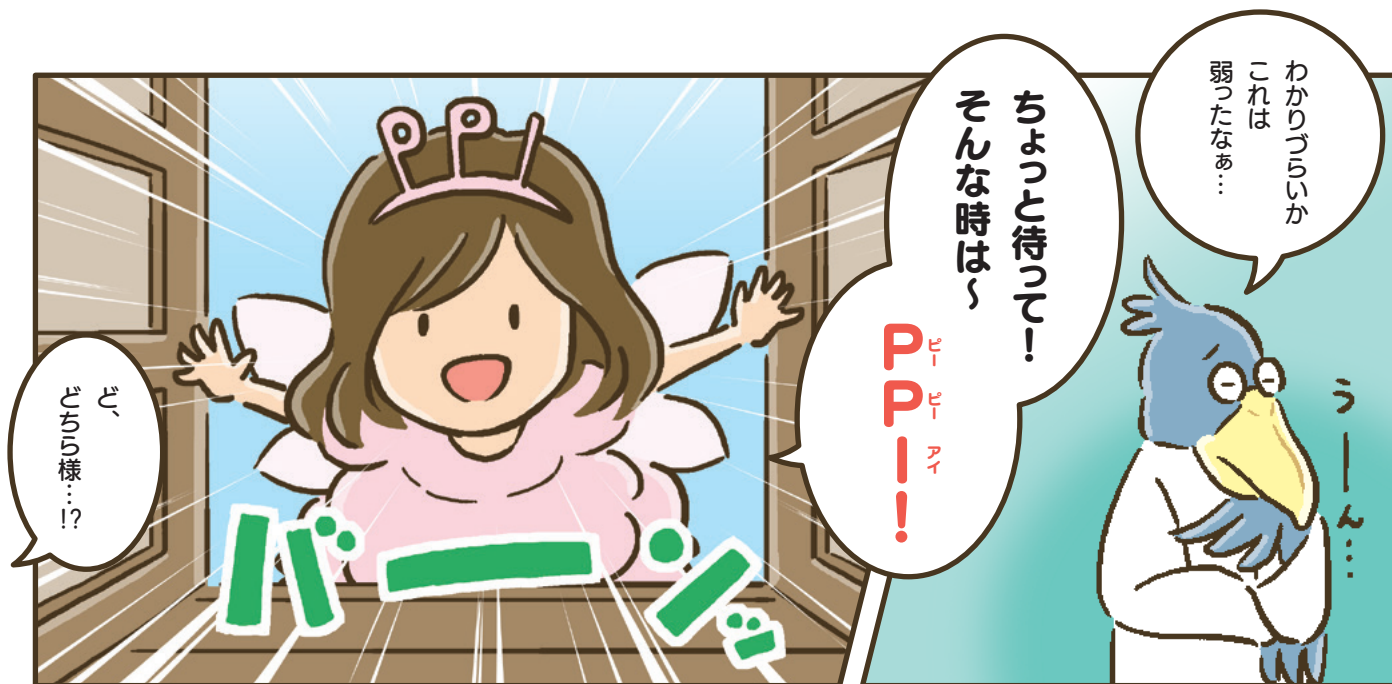


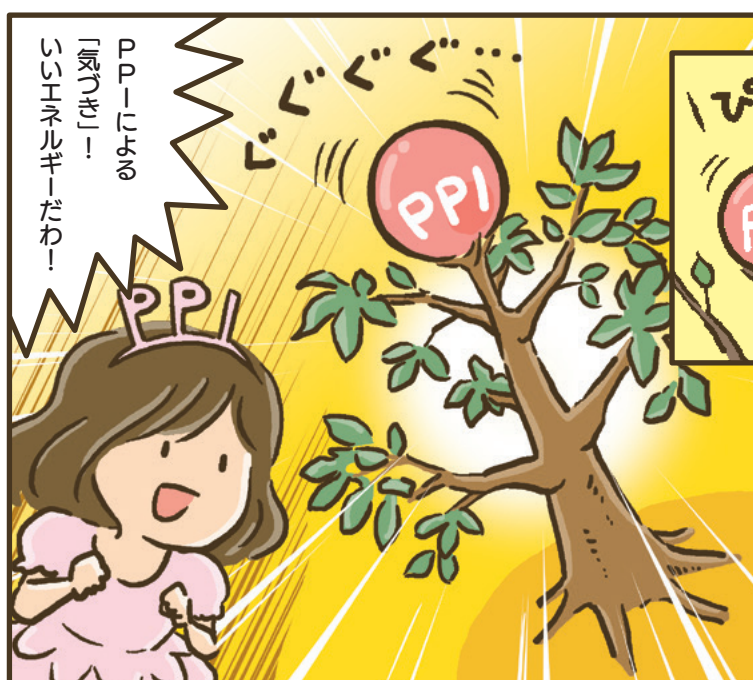
ピー ピー アイ
PPIって
なんだろう？

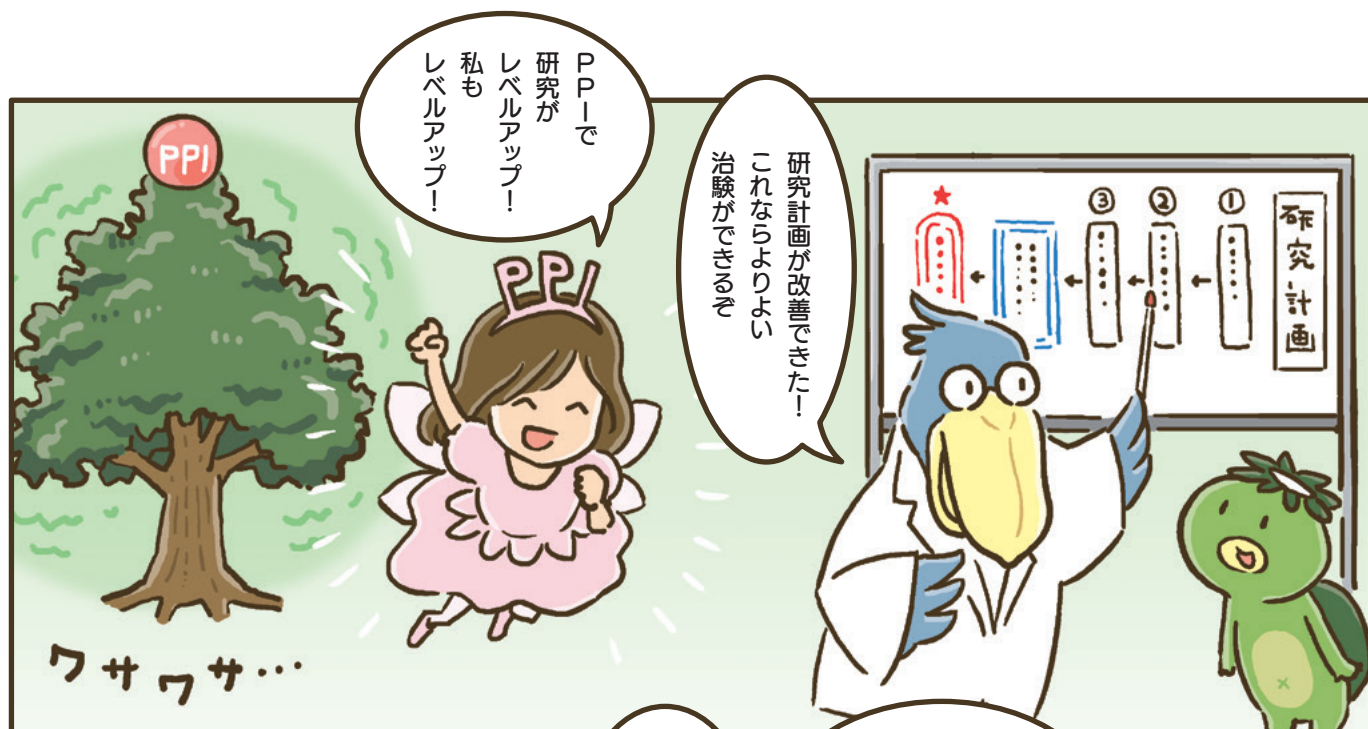
PPI：患者・市民参画 (Patient and Public Involvement)

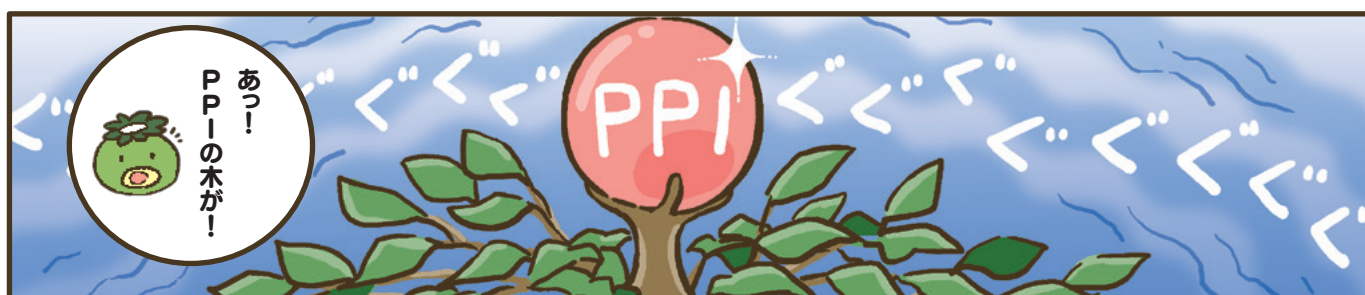


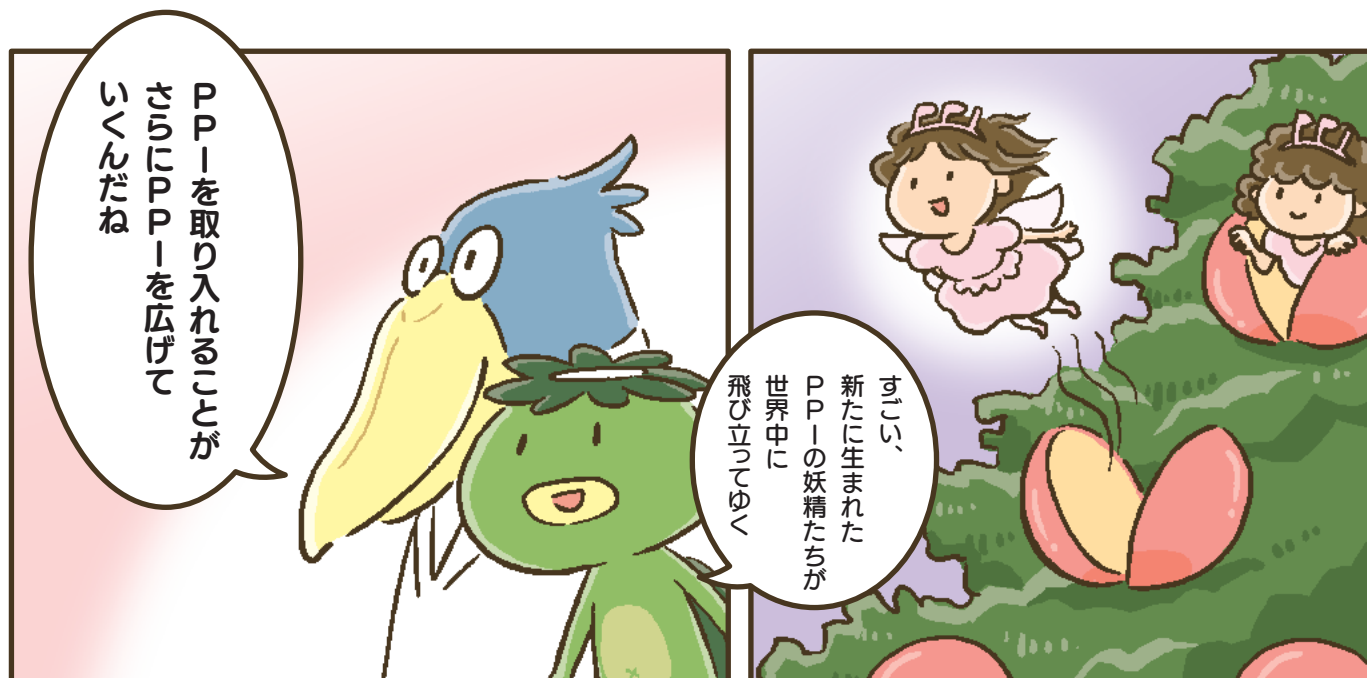












ことばの解説

●PPI (Patient and Public Involvement)

患者さんや市民が研究参加者になるのではなく、研究者と「パートナー」として一緒に研究に関わる取り組みです。研究の計画から実施、評価、成果の発信まで、さまざまな段階で、個別の経験や視点を生かして意見を出し合います。研究者と患者・市民が互いに気づかなかったことを補い合うことで、質の高い研究を創り、よりよい医療につなげていくことを目指します。

●治験（研究）

治験とは、新しい薬や治療法を病気の治療に使えるようにするため、人に協力してもらい、効果や安全性を確かめる研究です。その結果をもとに、国から薬などとして使ってよいという承認を受けることを目指します。

●レイサマリー (Lay Summary)

レイサマリーとは、研究で何をしたのか、どんなことがわかったのかを、専門家ではない人にもわかりやすい言葉でまとめたものです。研究の結果を、患者さんや市民のみなさんに知ってもらうために作ります。

あとがき

「専門知識がないからこそ言えることがある」 未来の医療を、ともに育てる仲間たちへ

医師（研究者）と、患者さんや市民。それぞれが見ている景色は、少しずつ違います。

研究者には大切なことでも、患者さんにとっては負担になることがあります。一方で、患者さんや市民の何気ない気づきが、研究者にとって新しい発見につながることもあります。

PPIとは、研究者と患者・市民が対話を重ね、それぞれの知見や経験を持ち寄りながら、より良い研究を一緒につくっていく取り組みです。

「それって、どういうこと？」

「私は、こう感じました」

そんな率直なひとことが、新しい気づきの芽になることがあります。

本作も「フェアリーズ」のみなさんの温かい視点と率直な言葉に支えていただき、より伝わりやすい作品になりました。心より感謝申し上げます。

この漫画が、患者さんや市民のみなさんの声を種として、研究者とともに未来の医療という木を育てていく、その一歩につながればうれしく思います。

謝辞 Fairy'sのみなさん

フェアリーズ：共感し、支え合いながら、医師・研究者と共に未来のがん医療を考える場
<https://www.ppi-fairys.com/lp/>

植田正樹 / 江中忠孝 / 太田恭補 / 加納大輔 / がんゲノム医療患者の会 佐藤千佳子 / 北郷秀樹 / 小村 悠 / シータ / 高階敦子 / 高山伸也 / 田中邦美 / 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会 藤下 一 / 轟千代佳 / 西川智美・国立がん研究センター / 肺がん患者会ワンステップしゃちほこ / ピアサポートよこはま 森 結夏 / 松川紀代 / 山崎 航 (敬称略)

発行・お問い合わせ

〒700-8558 岡山県岡山市北区鹿田町2丁目5-1
岡山大学病院 新医療研究開発センター
人材育成部／治験推進部
TEL 086-235-6504

企画・監修 難波志穂子
制作 株式会社 中野コロタイプ
発行日 2026年9月28日（初版）

*本冊子は、患者・市民参画PPI (Patient and Public Involvement) について、親しみやすくわかりやすい形でお伝えするために作成しました。

掲載内容は発行時点の情報に基づいています。

*本冊子は、臨床研究開発推進事業（医療技術実用化総合促進事業）にて作成しました。

*参考サイト

●<https://www.amed.go.jp/ppi/>

●<https://www.jpma.or.jp/opir/news/058/01.html>

●<https://www.ppijapan.org/about/>